（明治四十一年二月二十日第三種郵便物認可）　月曜及祭日の翌日休刊　明治四十五年二月二十八日（水曜日）　第八百九十八號（一）

京城新報

●東京だより

◎倫敦電報は英露の對波斯策を斷せり之に依て見れば、波斯は遠からず兩國の吞噬を免がれざ[illegible]存の理に[illegible]れば波斯の如き小弱國は到底現代に存在し能はざる國也、而して之れ波斯のみにあらず、支那の如きも亦然らざらんや、天則は容赦なく不適者を淘汰し去るべし、將來の支那が如何なる軌道を進るやは蓋し疑問に候。

◎現に今日の支那は主權なき國家なり、主權なき國家は國家にあらず、袁世凱は大總統の職に在ると雖も、事實上無政府の狀態にして國民は其適從する所を知らず、之れ恰も中樞神經を失へる瀕死の形骸が僅に其惰力に依て呼吸せるに止まり、國家としては已に滅亡せるものと謂ふも不可なし。

◎袁世凱の擬定せる新內閣の顏觸れを見るに、三十年一日の如く革命のために貢獻したりと云ふ孫逸仙は最高顧問と云ふ名の下に[illegible]敬遠せられ、[illegible]のは參謀總長の黃興あるのみ、他は袁の幕下にあらざれば總て之れ排袁派也、イツの時代にも犧牲となるものは正直なる先覺者にして、甘い汁を吸ふものは袁の如き老猾なる人にて候。

◎我國の外交が常に消極主義にして外國に一籌を輸するは痛恨の事とす、今回對淸外交の不振失敗に陷りつゝあるも亦此退嬰主義の罪とせず、先んずるものは人を制す、だ公卿樣の西園寺候やボッチャンの內田サンにコンナ注文をするのは、我等の無理かも知れざれどさりとて國家の一大事を放て置く譯にもゆかず、此頃列强が聯合して我國を疎外する傾向あるなど聞いては、益々安心ならず、國民は斯る無能なる外交家に國家の重事を一任して置くこと能はずと存候。

◎政府當局者の無能なるは、獨り外交上に止まらず、內政上に於ても遺憾の事多々あり、政府は曩に工場法を設定して未だ其實施を見ず、勞働保險の如きも其必要を認めながら之が調査をさへ了らざるが如き何から何迄ぐず／＼と實行に緩慢なる驚くの外なし、之で世界の一等國もあきれたものに候。

◎遠藤某の暴行事件も事實の分明せるに拘はらず、彼の卑怯なる遁辭と、政友會の偏頗なる振舞とに依り、遂に原案を可決して其罪を不問に附し去りたるは、何日ながら私黨の橫暴に嘆息の外なく候、國民は深く此不法暴戾を記憶すべし。

◎山田伯爵對市原若の扶養料訴訟事件は虛位虛名を重んずる華族社會に能くある例なるが、タヘト伯爵夫人なりとて親子の情愛には變りなかるべし、紳士は紳士、土方は土方と區別せらるゝ今の世の中に斯る慘劇は敢て不思議の事に非ずと雖も、社會の進步のためには痛恨の至りに候、社會の進步は縱の階級を撤廢し、智識道德を基とする橫の階級を展開するにあり、貴族の息子が豆腐屋の娘と戀し、大工の娘が博士と結婚すると云ふ時代に於て社會は長足の進步を來し候、此時に於ては華族の馬鹿娘と富豪の低能兒とは戀の失敗者にして社會進化の邪魔者と相成候。

（寡生）

●獨語（中）　獨去來

●文明、野蠻、半文明、半野蠻、老、壯、强、弱、智、愚、賢、不肖、何ぞガヤ／＼として夥しきや、文明は野蠻を食し、壯者は老者を食し、强者は弱者を食し、智者賢者は愚者不肖者を食し、變轉して究極なき世界、雜然として統一なき社會は、人間が進化の途上に於ける缺陷であつて、世界の純平和純統一は何萬何十萬の歲月を閱せねばならぬか分らぬ。

●最上圓滿に發達し得たりとするも極點は死滅ぢや、地球の破烈ぢや。

●樂園は唯々自身の冥想裡に夢のやうに現出するまでぢや。

●人間の心は不可思議千萬、如何な空想でも出來る、如何な空想にも滿足することが出來る、但し空想よりは決して臭氣を發せぬ。

●臭氣ある現實界の萬事萬端は、悉く何かに囚はれて居るのぢや。

●國家に囚はれて國家臭く、金に囚はれて金臭く、階級に囚はれて階級臭く、制裁形式智慧腕力に囚はれて、各々臭氣を發す。

●吾人の論鋒を以てすれば臭氣あるものは一切囚はれたるものである、所謂正義も臭氣あり、所謂道德も臭氣あり、所謂權力も臭氣あり、所謂慈善も臭氣あり、所謂富貴功名も臭氣あり、所謂政治教育文學宗教悉く臭氣なきはなし、臭氣を一掃せよ、臭氣を一掃して更に語を續けん。

●京城全面市區大改正を行ひ、悉皆南門前同樣に道つくりをして、兩側に悉皆朝鮮銀行の樣な家屋を建築し、二等三等及び山の手の區域には、兵營の樣な煉瓦家屋を設けて、一切無料に貸與し、一般の生活と活動とが平均して來たら極樂に近寄つたのぢや。

●一戶三四十圓の住宅があるかと思へば、二三百萬圓の石殿がある、錢の多少によりての結果だから仕方がないが平均しないのが低である。

●鼻の高すぎるのを少しそぎ取り、低きのを少し繼ぎ足し、頭のはげに毛を植ゑ、三角なのを圓くする、目の尻の下れるのを引上げ、肩の怒るのをそんと一擊してすらりとする樣の奇術が出來れば、早速看板を懸けるが、思ふたばかりのことである。

●昔の侍の眞似をするから劣敗者となると似非者が言ふ、昔の侍氣質では時勢に適せぬといふは、時勢が一般に町人根性の流行となつたから人多くして天に勝つて居るのぢや、町人根性は我利一點張りの儲け主義ぢや、昔の侍氣質は結局命を棄てゝかゝる眞面目の利他主義ぢや、今の時勢では眞面目が馬鹿で利他は阿房ぢや。命を棄てたら犬死ぢや、變化も變化丸で裏と表の變化ぢや、千萬人の我利の大海に利他の一人が飛び込んでも何の感じはないのぢや。

外事一束

▲ロ氏・人民の投票に依り判事を免職する件に對するタフト氏の反對論をば▲打破・する演說をコロンバスに於て試み北米政治家等は氏の該演說を以て▲同氏・をして終に急進主義者の陣頭に立たしめたるものなるを一般に認む

▲土國・列國に移牒して曰若し伊軍が海峽を攻擊の虞あらば海峽を閉鎖すと

▲英國・首相及閣員等坑夫側代表者並に鑛業主と外務省に會見和解策を講ず

▲罷業・の曉に採るべき國際的行動に關し國際坑夫會理事會倫敦に會議を開く

▲公判・問題に關し佛獨協議を開くと風說あるも伯林及巴里に於て否認せり

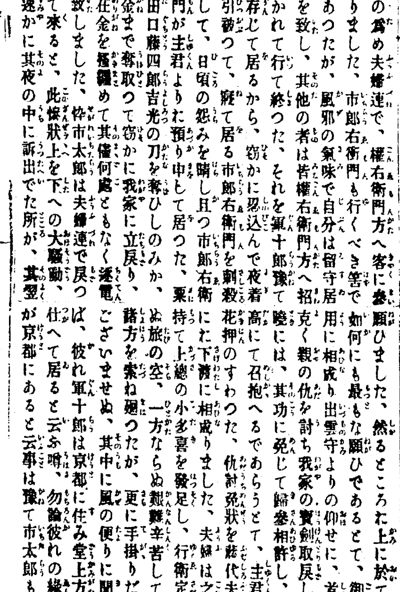
▲伊艦・多島海に現はれなば國內の伊人を放逐すと土政府公式に宣言豫告す

梁川庄八（やながはしやうはち）

小金井蘆洲演

第百十三回

當座は軍十郎も大きに後悔して、再々人を以て詫入れましたが、市郎右衛門は豫て軍十郎の人となりを知て居るものでございますから、なか／＼聞入れません、飽まで軍十郎を遠ざけました、窮鼠却つて猫を噛むとでも云ふべきか、軍十郎は人を以て再三詫入れたけれども一向肯かぬものでありますから、大に憤つて何がなアラを拾つて、腹癒を爲んものと小首を傾け思案したけれども、市郎右衛門は元來誠實律義にして君の寵愛深く家中の信用も厚いから、如何にも隙の付入りやうがない、夫のみならず軍十郎は、市郎右衛門の道場を破門されて此方、家中の面々何れも軍十郎をジロ／＼の如く、忌み嫌ふて誰れ一人訪れる者もなく、宛然油の中に水が一滴入つたやうな思ひ、けれども若しも此男が心を正しくして、身を堅固に致して居りますれば、又何とか人々も執成しも致すで有うが、性來良くない奴と見へて、已れの惡き事は棚へ上げて恩ある市郎右衛門を一圖に怨み、且つは家中の者が已れを疎んずるも、是皆市郎右衛門の爲なりとて、自暴酒などを飲んで不作法な振舞ばかりを爲し、ます／＼家中の者に疎まれるやうになつたので、ます／＼市郎右衛門を怨み、機會があらば此怨みを霽して與れんと、隙を窺つて居りました、然るところ軍十郎或夜のこと、市郎右衛門の宅の無人を幸ひに、忍込んだと云ふのは、此市郎右衛門の一子に市太郎と云ふ者がございます、同家中の田崎權右衛門の娘を娶りまして、里開きの爲め夫婦連で、權右衛門方へ客に參りました、市郎右衛門も行くべき筈であつたが、風邪の氣味で自分は留守居を致し、其他の者は皆權右衛門方へ招かれて行て終つた、それを軍十郎豫て存じて居るから、竊かに忍込んで夜着引被つて、寢て居る市郎右衛門を刺殺して、日頃の怨みを晴し且つ市郎右衛門が主君より御預り申して居つた、栗田口藤四郎吉光の刀を奪ひしのみか、金まで奪取つて竊かに我家に立戾り、在金を掻纏めて其儘何處ともなく逐電致しました、悴市太郎は夫婦連で戾つて來ると、此慘狀上を下への大騷動、速かに其夜の中に訴出でた所が、其翌



日になつて軍十郎方よりも、何處へか昨夜逐電致した趣きを、家內の者よりた屆に及びました、そこで市郎右衛門を害せしは全く、眞柄軍十郎に相違ないと云ふことが分りました、藤代家にては主人市郎右衛門が殺されたのみか主君より御預り申した、寶劍をも失つたので其趣を、翌日屆出でた所が、大切なる寶劍紛失の廉を以て、藤代家は到頭沒收仰付けられた、市太郎は親を討たれた上に、家が斷絕して了ふたものですから、遺恨遣る方なく、此上は如何なる艱難苦勞しやうとも、必ず敵の行衛を尋ねて討取り、且つ其寶劍を取戾して之を主君に捧げ、父上が修羅の妄執を晴さんものと、此趣きを上へ願ひました、然るところ上に於ても如何にも最もな願ひであるとて、御採用に相成り出雲守よりの仰せに、首尾克く親の仇を討ち我家の寶劍取戾した曉には、其功に免じて歸參相許し、元高にて召抱へるであらうとて、主君の花押のすわつた、仇討免狀を藤代夫婦に下渡に相成りました、夫婦は之を持て上總の小多喜を發足し、行衛定めぬ旅の空、一方ならぬ艱難辛苦して、諸方を索ね廻つたが、更に手掛りだもございませぬ、其中に風の便りに聞けば、彼れ軍十郎は京都に住み堂上方に仕へて居ると云ふ噂、勿論彼れの緣家が京都にあると云事は豫て市太郎も聞いて居ります、ソコデ都に上つて京の洛中洛外を尋ねたならば、敵の行衛の知れぬと云ふこともあるまいと、夫婦打揃ふて東海道を上り、鳴海桶峽前にて人足共の爲に難題を吹掛けられて難澁致して居る所を梁川庄八に助けられた次第は前段申上げた通り、其節庄八は約束した事がありまして、其約を履んで盡力する次第は是から追々申上げます、前にも申上げた通り市郎右衛門は庄八より二十兩の金子を貰い受けて恙なく上京致し、俗緣の因ある寺町の妙滿寺の住持日袋上人を便つて事の次第を物語りければ、日袋上人も大きに藤代夫婦の不幸を哀れんで其儘妙滿寺に差置かれました。

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金　十錢▲五號活字十七字詰一行一回金六十錢▲雜欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久靜一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話大三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

東京電報

▲**勤王志士贈位** 勤王家志士の功勞者四十三名に贈位及追賞發表さる內生存者一名あり

▲**烏堀併合可決** 二十三日伊太利議會に於て九對四百二十三の大多數を以てトリポリ併合案を可決せり

▲**政府の解散難** 南京政府は各部下に配給すべき賞與金無きため政府の解散に甚だ困難を感じをれりと

▲**大使館家屋購入** 政府は大使館に充つるため英國倫敦に於て宏大なる家屋を買入れたり

▲**二師團長新補** 二十七日步兵第一旅團長二田原繁三少將は中將に任せられ第二師團長に補せらる憲兵司令官須永武義氏豫備を命ぜられ後任には下關要塞司令官南部中將補せられ南部中將の後任として步兵第二旅團長內藤新一郎氏中將に任せらる步兵第八旅團長石原堅造氏及び卅二旅團長藤本太郎氏は中將に任せられ豫備仰せ付けらる

北京特電

▲**總理大臣は唐** 袁世凱孫逸仙協議の結果唐紹怡を總理大臣に推すに決せり唐及び王兆銘は二十六日入京す

▲**北京首都運動** 南部十省の紳商は北京を首都となすべく決議し各省に打電せり

▲**銅冠山經營** 安徽省銅冠山の銅鑛經營は日本東亞興業會社との交渉不成立に終り今回英國大資本家との間に利權回收の爲め外國人を退けずとの條件の下に共同經營を爲す事となりたり倘同鑛の銅は已に新政府が一手に買上ぐるとの約調ひをれりと

▲**開原の革軍逃走** 二十一日開原を占領したる革命軍約二百名は二十六日に至り約七百及砲一門の官兵より攻擊され終日戰鬪の後守を棄てゝ逃走せり

▲**外交團の通告** 北京外交團は袁不在となれば北京に騷擾起る可きを憂慮し袁世凱の南京行に不同意の旨通告せりと

雜報

●**各國居留地の整理** 朝鮮に於ける各國の居留地は釜山、仁川、木浦、群山、鎭南浦、城津の六個所なるが此制度は韓國政府時代よりの遺物に係るを以て早晩之れが整理を爲すの必要あり當局者は目下準備中なりと

●**農商工部商工調査方針** 農商工部當局にては前年全道の商工調査に從事し各方面の報告書は二三出來上り居れるも全部終了は多分五六月頃なるべく而して明年度以降は全然方針を改め一般的の調査を爲さず特殊の產業に對して詳細なる調査を爲すべしと云ふ

●**刑事令中追加** 近々制令にて發布さるべき刑事令中該令の實施に伴ひ廢止法令の內に鐵道事項犯罪人處斷例及刑事裁判費用規則の二項追加の旨二十七日發布されたり

●**諸税徵收成績** 度支部調査に係る本月十五日現在四十四年度內國稅及驛屯賭稅徵收成績を聞くに左の如し

一、地稅豫算額六百三十四萬六千四十五圓、收入步合十割二步
二、戶稅同六十二萬〇六百七十九圓、收入步合十一割二步
三、家屋稅同十三萬一千七百〇六圓、收入步合十割二步
四、酒稅同十九萬七千七百四十四圓、收入步合十二割九步
五、煙草稅同二十萬四千四百四十三圓、收入步合十三割三步
六、鑛業稅同十九萬九千六百三十二圓、收入步合六割九步
七、其の他の租稅同六萬六千三百六十一圓、收入步合七割一步
八、驛屯賭同百三十六萬一千八百二十一圓、收入步合八割三步

●**朝鮮預金利子引上** 既記の如く朝鮮銀行にては來る三月一日を以て預金利子の引上げを行ふべく重役會議に於て決議し目下其筋に向ひ許可の申請中なるが許可の時日に依り或は多少の遲延を來すやも知れざれど兎に角朝鮮銀行利子引上げと同時に各普通銀行側にても直に同率の預金利子引上げを行ふべく決定し居ると

●**湖南沿線郵便物速達** 來る三月六日より湖南線群山迄で開通すべしとは既記の如くなるが右開通に伴ふ郵便物の速達時間を聞くに左の如し

△京城全州間 從來京城より發したる郵便物は三日目午前十一時に到着したりしも開通後は二日目午後十一時着
△京城群山間 二日目に到着し在りしも即日午後五時着又釜山よりの郵便物は三日目午前五時着のものは二日目正午着なる
△京城光州間 四日目午後五時三十八分着を三日目午後七時着となる

●**大阪製品と博覽會** 既報の如く朝鮮に移入する大阪の製品は豫てより粗製濫造の弊あり依つて近年にいたりて內地人鮮人共東京の製品を歡迎し從つて大阪製品の賣行以前に比して著しく減少せしより近時大阪の商人等は大に狼狽し之れが商勢挽回策に就き種々講究し居れる由なるが今之れが挽回策につき同地朝鮮貿易組合に於ける一部のもの丶考案を聞くに大阪の製品は決して粗製濫造に非ず近時朝鮮に於て歡迎されざる傾向あるは之れ供給者と需用者との間に於ける意志の疏通を缺くがためにして一朝此の双者の意志にして疏通融和せんか以前の如く歡迎さるゝや明なり而して此の意志の疏通を圖る方法としてはまづ大阪朝鮮貿易商同業組合主催の下に京城に大規模の大阪製產博覽會なるものを設け以て大阪品と東京品との優劣を一般人に示すにあり經費の如きは自ら其の道ありといふにあるが此の計畫は昨今同地の商人間に歡迎され居れりといふ

●**屠場問題と當局** 屠場問題は未だ民團の申請を認可せざる理由に就て當局の語る處によれば民團の經營方法薄弱なるものあるに就き內務部の指令により如何にして民團は之を經營するかを民團に照會中なるが民團の回答を待て之が處理を爲すべしと又一說によれば現在官營の如き低率の賦課方法にては民團に於て經營困難なるべく然れども民團の主張の如く屠殺に高率を賦課し又一方私營屠場に對して屠場稅を重課するに於ては單に民團の收入を計るを目的とする弊害あり且つ其の結果私營者を困難せしめ市場の肉價をして騰貴せしむるの恐れあれば其間の權衡を解せしめざるべからず故に適當の詮議を要すべきも民團の經營適當ならざる限り認容すべしと

●**陸軍紀念祭** 來る三月十日は我陸軍紀念日に相當するが朝鮮駐劄軍司令部にては例年の如く大規模の祝賀會を催せず少數の文武官民を招待し極めて質素なる紀念祭を擧行すべしと

●**新舊司令官招宴** 安東上田の新舊軍司令官は來る三月一日寺內總督以下文武勅任官三十餘名を又四日は重なる文武官民間の重なる者數百名を龍山の軍司令官邸に招待し上田大將の留別宴安東司令官の新任披露宴を催す筈にて目下其の準備中なりと

●**定例長官會議** 廿七日午前十時より既報の如く總督官邸に於て定例長官會議を開き寺內總督より政務に關する一場の談話あり散會せしは十一時三十分にして石塚、倉富、池田、俵、明石、宇佐美、小松の各長官、菊池、鈴木、小城の長官代理等出席せり

●**軍司令官小倉發** 新任駐劄軍司令官安東中將は廿七日午後七時三十分小倉を出發し同夜聯絡船に搭乘廿八日朝釜山上陸大池旅館に休憩市中を巡覽し同夜釜山驛發列車にて龍山軍司令部よりの出迎武官十時大尉を隨へ廿九日午前九時六分龍山に到着直に軍司令官々邸に入る由

●**上田大將の參候** 上田大將は廿六日午後二時昌德、德壽兩宮に參候今回の昇任及轉役の御挨拶を述べ尙松永師團長薨去に對し香奠下賜の御禮を言上したりと

●**上田大將出發期** 上田大將は廿九日着任の安東軍司令官に對し一日迄に事務引繼ぎを了し留別宴を濟し三月六日午前九時三十分發列車にて東上し在任中の軍務に就き闕下に伏奏すべしと

●**兒童入學申込期** 京城民團に於ては來る四月一日より就學すべき兒童即ち明治三十八年四月一日より明治三十九年四月一日に至る間に出生したるものは各其保護者より來る三月二十日迄に入學申込書に戶籍謄本を添へ民團役所に屆出べき旨の告示を爲したり

●**京畿道の殖林獎勵** 京畿道廳にては昨秋山林經營獎勵の目的よりして殖林經營者にして其の私有林の保護禁養良好なる者に褒賞を授與することゝし管內各府郡に對ひ之れが調査を命じたるが京城府にては既に一等及三等に該當すべき成績良好者各一名宛を見し道長官に申請中なるが手續終了次第近く府廳內に褒賞授與式を擧行すと

●**故松永師團長光榮** 廿六日仙臺に於て故第二師團長松永中將の葬儀執行の趣、天聽に達し畏くも陛下には特に宮城縣知事を勅使として師團長官邸に御差遣あらせられたり

●**駐劄軍交代期** 第二師團と交代し朝鮮守備の任に當るべき第八師團は來月中に全部渡鮮配備を了り第二師團は四月中に仙臺へ歸還すべしと云ふ

●**臨時派遣隊聯合演習** 在大田臨時派遣隊步兵第一聯隊第一大隊、成歡守備隊其他各隊聯合演習は三月五日より六日にかけ大田、水原、公州の各地に跨り特別演習を爲す由なり

●**野砲兵聯隊の演習** 龍山の野砲兵聯隊は二十七日午後三時より漢江江岸に於て空砲發火演習を爲したり

●**白耳義領事の招宴** 豫報の如く當地駐在白耳義領事は二十七日午後八時より文武官數十名を招待する筈なり

●**有望なる平北鑛脈** 朝鮮の鑛物に富むことは世人の夙に知る所なるが今平安北道の北部を踏査し此の程歸京したる某技師の談に同道の北部慈城、昌原、渭原、江界、楚山地方即ち妙香山の以北白頭山にいたる方面は深嶺大澤多く人跡未到の地なるが爲め未だ鑛區の出願を爲したるものなきも同地方は金鑛多く而も有望なれば鑛業家の大に着目すべきところなりと

●半島鑛業振興上の意見(十九)

▲**鑛業家津田鍛雄氏** 既に御連載になりし諸君の御意見に依り朝鮮鑛業振興策は殆ど全く盡されたかの觀あるを覺ゆるが尙ほ諸家の所說以外に就き卑見を陳述することにする彼のセシルローズが鑛業を本位としてトランスバールに當り帝國主義を主唱してチャンバーレンと論議を試み終に中阿に英帝國の屬國を建設し又たモロッコに對つて獨逸が鑛業を起し後佛蘭西の干渉を惹起せるが如き皆な是れ鑛業問題は各國共に第一に其の國の經營權を得んことに焦慮するを現はすもので既に朝鮮に於ても十三年以前朝鮮が未だ露國の勢力範圍內にありし際佛蘭西が露國の勢力に依り露國の爲めに軍用道路を開設する條件の下に昌城金鑛の經營を韓國政府と契約し又た其の二三年後に至りては米人レーハントが軍人上露國を援助すべしとの條件の下に同じく露の力を藉りて平安北道全部の鑛業經營をなすの契約を結び自身社長として雲山金鑛を採掘し爲めに日露戰役天の戰勝後に於てさへ雲山金鑛に露兵の出沒するを見たるが如きは何れも是れ鑛業に對する列强の意嚮と鑛業の國家的重要問題なるを現はすものなるを知るべし即ち自分は此意味よりして東洋拓殖會社創設當時會社設立の根本目的は軍事上の要求より朝鮮に多くの人を移住せしむるにありと聞き其の設立主唱者たる東洋協會の林總裁小松原副總裁に面談して東洋協會は何故鑛業の經營を會社設立の目的中に入れざるや朝鮮の農業開發の如きは其の風土地味の關係上其の經營は主として南鮮及び中部地方に限らるべく却つて地價其他の點に於て他と紛爭を惹起し移住民相食むの結果を來すべきは明なり寧ろ鑛業經營を其の主眼とし朝鮮鑛區の淵叢地域たる北部地方へ移住民を誘致するの利に出づるに若かず殊に營利會社といふ以上は僅かなる資金を探坑に費すに於ては其の經營を可能ならしむべき北鮮地方の金鑛に於てをやと縷々前述の鑛業問題に對する卑見を述べると兩總裁とも幾分此の考へは有して居られたが當時列國は何れも鑛業上の利權を獲得せんことを主眼として朝鮮に臨んで居る爲め東拓に於て其の鑛業權を獨占するに於ては自然列國の感情を害するの嫌あるを以て暫く農事經營を主眼とし鑛業に至りては其の必要に際會するに當り大藏大臣の許可を得れば經營可なりと云ふ條項の下に農業開發を主目的としたとの言であつたが此東洋拓殖會社鑛業經營に對する予が希望は今日に至り益々切なるものがある扨て今日朝鮮鑛業上列國が注意を拂ひつゝあるは平安北道に限られ而して其の鑛區の大部分は所謂宮內府所管に屬し總て先願權を認めざることに規定され居るを以て當局は專ら東京大阪に於ける鑛業家の富豪をして此等鑛區の經營に當らしめんとの方針に出てをるが鑛山經營は果して富豪を俟たざれば不可能とするか今日內地に於ける大鑛業家と稱せらるゝ富豪も昔日に於ては皆な是れ一介の小資本家である彼の住友氏の如き明治十七年外山修造氏の日銀大坂支店長時代に於ては僅々千圓の約束手形に對してすら拒絶され藤田氏も小坂銅山の經營當初は五百圓の借財にすら苦み古河は足尾銅山創業時代は百圓の爲めに自殺をさへ敢てせんとし岩崎の如きも亦明治維新の變革に依り家產傾き其の五百年來經營せる吹矢銅山も明治六年には一時川田小一郎氏に六萬圓に賣却し十年後に至り更に該銅山より百萬圓を得たのが岩崎氏今日の富の基礎を爲すではないか此等の例證に徵するも朝鮮に於ける鑛山經營者が必ずしも富豪たるを要する理由は之れを認むを得ず更に既に現はれたる事實に就て之れを見んか彼の第一に澁澤淺野兩氏に許されたる稷山金鑛は如何?其の契約中には日本臣民以外に其の利權を讓渡すに於ては無効たるべしとの明文あるに拘らず表面上下受負の如くに裝はしめて外人に事業の全權を任せ彼等外人は昨年八月に至り遂に米國パルゼニヤ州の法律の下に稷山金鑛會社なるものを設立し本社を朝鮮に置くに至つたではないか堂々たる富豪澁澤淺野兩氏が斯の如く自巳の鑛山を外國の法人としたるが如き何人も其の沒常識を認むべく殊に現今古河村井淺野等の內地資本家が平北龜城郡地方に於て探鑛には厘毛も之れを費すことなく徒らに鑛區の奪ひ合を試み時に或は他に自巳の名義を貸與して名義料を貪る等の亡狀に至りては單に之れを人道の上より見るも實に忍びざるものあり斯の如き內地富豪等に委ぬることが果して朝鮮鑛業の發展を來し得べきか吾人は大に當局の反省を促し度いと思ふ(つゞく)

●**京城民團民會** 京城居留民團は二十八日午後三時より淵上教員轉任問題、隣接地買收に關する醜行調査事件教員給與手當に關する件等委員より報告の爲め民會を招集すべしと

●**各貿易港出入噸數** 一月中朝鮮各貿易港に於ける出入船舶積載噸數は入港汽船三十三萬百〇三噸帆船三千百七十二噸ジャンク一千四百九十七噸計三十三萬四千七百七十二噸にして出港は汽船三十二萬七千八百九十九噸帆船二千三百三十六噸ジャンク一千五百九十八噸計三十三萬一千八百二十四噸なりといふ

●**總督邸の午餐會** 寺內總督は廿七日正午滯在中の佐々木澤兩代議士及やまと新聞記者正岡藝陽の三氏を招き午餐會を開けり

●**手形交換週報** 京城手形交換所に於ける二月十九日より二十四日まで一週間の手形交換高は枚數二千九百二十八枚金額九十七萬六千六百十九圓廿七錢にして一日平均は四百八十八枚十六萬二千七百六十九圓八十八錢なるが一月以降累計は二萬七千〇七十五枚八百萬四千八百十九圓〇八錢なりと

●**朝鮮在籍漁船數** 最近の調査に係る朝鮮在籍漁船數を聞くに二十噸以上五十噸以下二十二隻五十噸以上百噸以下十三隻百噸以上二百噸以下四隻二百噸以上三百噸以下一隻三百噸以上四百噸以下一隻五百噸以上六百噸以下一隻七百噸以上八百噸以下二隻八百噸以上九百噸以下一隻千噸以上三隻にして此の總噸數九千二百五十三噸なりといふ

●**京城の瓦斯燈火戶數** 日韓瓦斯電氣會社の瓦斯燈火戶數は二千五百三十戶孔口數九千五百口にして一月末日の統計に比すれば戶數に於て四十七戶孔口數に於て百九十八口の增加を來したるが瓦斯料金値下後は申込弗々增加し昨今一日平均十七八戶の申込ありといふ

●**狩獵團の根據地** 東京獵友會の主催する朝鮮狩獵團は後藤新平男を隊頭として三十余名愈々三月三日午後三時四十分新橋を出發五日午前九時着同十時二十分同地發列車にて北行六日午前九時十五分南大門着同九時四十分南大門發黃海道新幕に至り新幕を中心として約一週間附近を狩獵する筈なり一行に對しては差支なき限り官憲に於て便宜を與ふるは勿論通行地の各銃砲商が主として接待の任に當る由

●**露領出稼人狀況** 過般露領沿海州地方へ出稼の鮮人約百五十名(內婦人數名あり)は淸津に歸着の上夫れ〳〵原籍地へ向ひたるが同人等は多きは二百五十餘圓少なきも六七十圓を携帶し歸れり而して出稼地の近況につき語るを聞くに多くは浦鹽松鶴嶺、岡拓吹風、下馬湯、麥田洞等にありて永住者は未墾地を開墾し農業に從事し一時的の者は永住者及露國人の小作を爲し又は日傭として日給二圓內外を得居れり小作料は土地の良否により多少の相違あるも平均一日耕(二千四百坪)につき一ケ年十七八圓の間に在りと又一時的の者は日傭勞働の余暇秣刈などに從事し居れるが一般に富にして從て生活程度も比較的高き方なりと云ふ

●**京城昨今の魚價** 每年一、二月の候は概して魚類品薄にて從つて其價格も高値を示すものなるが今年は珍らしくも多少の入荷ありて總じて安價なるが日の丸市場に於ける價格は鰡十四錢乃至十六七錢の間にて平目十錢鯛は三十錢紅子鯛十四五錢にて鰯長崎もの一樽八九圓なりと云ふ

公人私人

▲佐分利良民(平壤慈惠病院長)二十六日浦尾へ
▲都筑能悌(同庶務課長)同
▲荻谷籌夫(朝鮮新聞社長)同
▲草苅雄治(技師)同釜山へ
▲高山徹(咸興實業學校學監)同水原へ
▲富家正義(開城蔘政課技師)同開城へ

▲**京城手形交換高**

	金額	枚數
二月廿七日	一七九、四九五、六六〇	七六

▲茶袋▼

宇佐川東拓總裁は、目下入京中の澤佐々木の二代議士を京城ホテルに招待し、一夕の懇談を試みんと其意を二代議士に通じた▲二代議士は豫てより東拓の內情を知悉しをれば宇佐川に出會つて別に說明を聞く必要もないから、體能く招待を斷わつたが強いての懇請、さらば折角の御厚意に對して參上仕らうと、二十六日の午後六時、二代議士は定められたる宴會場京城ホテルにと出掛た▲向ふは總裁宇佐川の外に井上康哉が接待役でた世辭タラ〳〵歡待頗る努めたトコロで止せばよいに、宇佐川が眞面目に東拓不評判打消しの說法を始め出した▲如何に辨解をしても東拓の無能と、重役連が我利〳〵主義本位である事は、事實が證明してをるから世間では嘘八百を並べた所謂宇佐川の辨明に耳を假す者は低能者の外には無い▲澤來先生聞兼ねて、宇佐川に向ひ逐一急所を突いて反駁したソコで議論に花が咲き澤も怒れば、宇佐川も恚る、玆一場の活劇が演ぜられんとする一刹那、平日に似合はず佐々木蒙古王がマア〳〵と仲裁を試みヤッと鐵拳沙汰までに到らずして散會した▲後で宇佐川も自分が惡るかつたと氣が附いて、井上理事をして二代議士を更めて花月に招き、東拓攻擊だけはドウか御手柔かにと低頭平身泣願せしめたそうだ、いつも〳〵[illegible]を出すのが東拓でゴザイ。

れのぶの述懷談
元花月の仲居頭

（下の一）

『アラ既うお眼覺めで被爲在いますか、エ、今十時を報つたばつかり、モ少し御寝なつてお在で遊ばせナ、お風呂はモウ夙うから、左樣でムいますか、チヤ左樣遊ばせ、ハイお楊枝、アラお危ふムいますよ、夕氣と申上げたいんですが實は今朝氣の宿醉、お頭でも痛みは致しませんか、エ、エ腹チリで熱い燗をお引つ叩けになれば直ぐ快く成りますとも、夫は夫として今晚お出立でムいますか、久し振りにお前に逢つたからモ一晚泊るつてマア何と云ふお巧言でしよう、お世辭と知りつゝも何でムいますね惡く云はれるよりは心持の好いものでムいますね、存じませんよ、婆ノと坊さんは欺すものぢやないて申しますよ、何にしても若い間の事ですよ』言葉尻は妙に慄へた、罪の子の心の悶ね『お石鹸は此方にお手拭は湯上りは此方に、お加減は麼うムいましよう』草履の尖を爪立てゝチヨト取上げし左褄、咬へし右の袂からツルリと流れし襦袢の袖紅を嫌つて溷納戸、霞どかゝる湯煙りを隔てゝ人の嫋かしい『ホンに恰好でムいますよ、お部屋をお掃除致してお迎ひに出ますからね夫れまでは例令何處の美しい姐さんが被入來と申上げても決して入來ては不可ませんよね、人淡ひに淡はれますから、若しか左樣した時には大きな聲を出して乳母やをお呼びなさるんですよ好ムんすか、オホヽヽヽ』罪も苦勞も無い樣に浴る如な華やかな笑ひ聲を殘して遠ざかり行く足音を靜かに浴槽に橫つて夢心地に追ふ耳に追羽子の音の靜かに響く、思へば渠女も哀れな者である、渠女は其自身が成したることに依りて如何なる結果、惡影響があつたかと云ふことを當時は勿論今日に至つても未だ覺らぬので、只面白可笑しとのみ記憶を辿つて其昔に憧るゝのである、明窓から映し込む麗かな日の光は立ち罩めた水蒸氣を透して淡い柔かな光を浴槽の底に投げる、天地初めて闢け、日月始めて萬象を照らし丶時も斯くやと思はるゝ、終夜の酒戰に少からず疲勞を覺ねて身も甘露の一浴に氣も心も引き立つた、廊下を急ぐ草履の音が聞ゆる、お迎ひだな、と心注いた途端にスラリと湯殿の扉が開く塲內を透して『アラ未だ彼樣事を被成て被爲在のですね、マア麼うしたら佳んでしようね、困つた坊ちやまだこと、一寸乳母やが流して上げますから、サヽ前方をお向き遊ばせよ』（つゞく）

●空家に潜伏せし賊
▽監獄署へ逆戻り　二十六日午前十一時頃龍山署の下村巡査部長が榮町質屋毛利森孝方宅前に差掛りたるに擧動不審の若者を見付けたるより引致取調べしに此者は原籍福岡縣佐原郡金竹村字妙見寺千百七十六番戸當時住所不定の牛尾吉三郎（三一）なる前科數犯の曲者にして本月二十日永登浦監獄出獄以來龍山面青坡町元料理店一樂樓の空屋に潜伏し居りて二十四日には京城吉野町二丁目梅田新太郎方の不在に乘じて忍び入り衣類十二點此價格金七十圓を窃取し右贓品は前記の空屋に匿し置き其內二點を毛利方へ入質し計畫中難なく取押られ目下留置取調中

●龍山の狂犬撲殺
▽飼主の注意肝要　新龍山漢江通り四丁目二番戸江口又三郎方飼育の牡犬は本月二十三日漢江通り五丁目に於て京城太平町二丁目九十番戸高橋粂松方同居森田岩吉（三四）及其他數人に咬傷を負はせしより龍山憲兵分隊に於て二十五日之を撲殺し死骸は總監部痘苗製造所に於て解剖に附したるに檢診の結果狂犬病なりと確定せり

●質屋の利息引下
▽三月一日より　其の筋の命に依り三月一日より左の如く改正引下げらるべしと
一圓まで七步、十圓まで五步、五十圓迄四步、五十圓以上二步五厘、百圓以上二分
尙右は京城、龍山、仁川、釜山の各地に適用せらるゝものにして其他の小都市は一圓迄一割、十圓迄八步、五十圓迄六步なりと云ふ

●時計興振會差止
▽命令違反の廉あり　市內各時計商の組織に成り既に其筋の許可を得て之を發表したる同會は其後の取調の結果命令違反の廉あるを以て廿七日附其許可を取消されたりと

●仁川の日人婚姻數
仁川府管內にて昨年中日本人の結婚及離婚數を調査するに結婚は三月の十二人を多數に十一月十二月の兩月は一人宛の少數にて總計六十五にして離婚は二なり內初婚男五十八人再婚以上七人女初婚六十二人再婚以上三人なり

●ミシンで女郎買
二十六日夜十一時頃太平町一丁目近藤利男が大漢門前派出所に出頭し去る十七日より二十四日に至る間に於て自家用シンガーミシン一台價格四十圓を盜難に罹れる旨屆け出でたれば詰合ひの警官現場に臨檢取調べたるに曾て近藤方に同居せしことある目下住所不定の石川縣人橋本寶次郎（二二）に不審の點あり同夜來合せゐたるを幸ひ嚴重訊問に及ぶと實は二十日の夜ミシンを持ち出だし二十四日長谷川町一丁目清水洋服店に二十八圓にて賣却しその金は悉く新町遊廓にて散財したりと眞直ぐに申立てたれば身柄は南部署へ

葛家の吉彌
藝妓の二萬圓處分法

一見怜悧そうな女春枝雛子の二妹と心を合せて兩親を養なつて行くとは殊勝な心懸けと謂はねばなるまい。私しこれでもなか／＼重荷を背負つてましてね間々々すると兩親と姉妹三人が眼を白黒させねばならないのですよソレに月四十圓の家賃でしょう二ツも重なろうものなら姦勝さんに追ひ立てられますしねだけど私し一萬圓のお金が手に這入つたらチビ／＼はよう遣はん一萬圓でね焼けた歌舞伎座の跡へ歌舞練習所を建てゝ大いに花柳界の發展するように力めたいと思ひますそして立派なソレ／＼の師匠を聘んで希望者を入會させ舞踊なり義太夫なり長唄なり藝者を廢めても立派に師匠として立つて行けるやう又勤めてる中は無藝猿よ不見轉よなど丶お客様から笑はれないやうにしたいと思ひますの師匠への謝禮は建物を種々な集會や興行などに貸した揚り高で拂つて行きますよソレからね私しのとこを置家なんてまをしますが置家ぢやないんですよ只此家に兩親と姉妹三人外にお千代姐さんが若い者ばかりですから視てゐて下さると云ふだけなのですよ

●此で飯の食上げ
二十六日夜十時頃東京府人相生町五十番戸京畿道廳雇員白鳥榮助（二三）方に於て同居人兵庫縣人無職田村忠義（三八）同千葉縣人同上宇津木仁康（三〇）同原籍年齡不詳爲職飯高福太郎の四名が金錢を賭して勝負の最中其筋の手が這入りたるが他の三名は逃走したれば白鳥一人を引致し取調中

●竊賊捉はらる
黃海道長淵郡新化面東三里四統二戸朴永鎭（二八）は廿二日午後六時頃京城本町二丁目廿一圓城吳服店にて新大島絣一反價格三圓六十五錢の品を同日午後六時本町某商店にてアルミニユーム食器を窃取し廿三日午後三時中部塔洞三十四統二戸質店柳節鉉方に入質し逃亡中を廿六日北部署の巡査に捕へられ檢事局へ送致す

●吃語矯正方法建議
大阪市西區江戸堀下通三丁目帝國吃語矯正會は明治四十一年吃者取締の件に就き內閣各省貴衆兩院各府縣各官立府縣學校其の他に向ひ建議案を提出したるが今回又左の建議案を提出したる由、之に因りて之を觀るも同會矯正方法の如何に完全無比なるか、如何に懇切叮嚀なるかを知ることを得べし

●夜學校講演會
旭町一丁目京城夜學校にては來る二十九日午後七時第一學期修業證書授與式を擧行し同八時より校友會の主催に係る第三回講演會を開催通俗教育の目的に資するものなれば一般に聽講隨意なりと因に今回の演題及び講師左の如し

『己を知る』　曹洞宗布教主任　寺田有全師

●痘瘡患者の死亡
熊本縣阿蘇郡坂梨村字坂梨當時吉野町四丁目七番戸居人力車夫那須末熊（三七）は本月二十日頃より痘瘡に罹り居たるを二十六日戸口調査の際發見吉本醫師診定同日午後五時順化院に送り附近の住民に種痘を行ひたる上大消毒をなしたるが患者は同夜死亡したりと

●打つ打れつ又打る
京城南部下犂洞二十一統十戸人力車夫金聖完（三三）は自分の主人なる李鳳來方へ南部官井洞三十九統十戸人力車夫朴平化（三三）が廿五日午後十一時頃車賃の請求に來りしを怪しき者と認め爭論し格鬪せる騷ぎに銅峴分署の巡查補出張双方を本署に引致の上笞三十に處せらる

●賭博中を御用
福岡縣人米倉町八十番戸魚行商吾間八郎（四〇）山梨縣人同居兩宮學而（三八）東京府人御成町百八十三番戸南大門郵便局集配人前澤正吉（三一）の三名は二十六日夜八時頃吾間方に賭博中南部署の手に押へらる

●芝居見たさに笞十
京城中部貞善坊大廟洞二十一統十二戸李正春（二三）は廿六日午後十時頃中部貞善坊於義洞朝鮮劇場長安社にロハにて這入らんとする處を引捕へ北部署に引致笞十に處せらる

●立小便して笞
京城北部齋洞廿九統二戸金光三（二六）は廿六日中部貫子洞街路にて▲京城西部盤橋坊京口洞七十統三戸金勳鄕（二二）は中部廟洞にて廿六日午前十時頃放尿北部署に於て孰れも笞五ツ

●猫島樓にお灸
仁川猫島遊廓猫島樓事桑園榮吉（四〇）は去二十一日の夜一人の客ありしに關らず客帳に記載し屆出でを爲さず科料金五十錢に

●火鉢を盜まる
京城盤石坊亭子洞八十九統一戸金炳赫は眞鍮火爐一個二圓五十錢の品を自宅に於て窃取されたる旨西大門分署に屆出づ

●演藝だより
▲御成座　新派劇中村榮一座大車輪にて廿八日は明治毒婦『火車お仙』を演じ餘興として劍舞、座長の松上の鶴の舞あり
▲浪花館　東操の改良新講談前講の續

人力車帳場　伊藤組
一番困るもの（二）

▽車賃が掛になる　ゴム輪の泥を水で奇麗に掃除して居る中を過ぎて帳場に這入る、主人の伊藤友松さんは他行中で帳場クンに番頭から一番困る事はと訊ねて試る、クンは斷る愛嬌が好い、家內が大勢の轅子で大した賑かさだ、先づ一番困る事は車賃の掛金です之れが一番閉口ですなア左樣です、羽織ゴロとでも形容しますかね立派な邸宅を張つて并して絹の物を着た者に掛け倒しが多い樣です、之れ等の掛け倒れは親方の取分三分の內から減きますから余程巧く經營しないと一寸此の營業も困難です、轅子は揚り高の七分を百二十四名に各分配するので一日一人揚高の平均は一圓二三十錢でせう無論順番に働かせますが獎勵方として賞與も致し居ります、繁しく電話の鈴が鳴る『妾花月ですが三臺至急に寄越して下さい』と大きな聲で云ふて來る、ゴム輪は普通の倍額を要して轅子は輕くて輓き好いが親方を泣かせです、一年も經たらタイヤが磨滅する維持は短い方です附近が忙しく閑しいので話しが前後に急行列車的に終つた。

花柳放言　誘ふ水（三）
▲三味線の音締を合せた限り『お手軟かに』とか『有そうなものを』と言ふ次にても藝者として如何と思はるゝに『知りません』と流行唄を資本に『貴君や騷ぎましょうよ』などゝ度胸のいゝ事を申して治まる京城藝者なるものも難有かな▲『今晚は』と昵れると先づお客の敷島へ手がかゝる『莫迦に寒むいわネ』など、洒落氣の乏しい御持擬で、無遠慮に火鉢へかざして來た樣な色氣のない手を『姐さん先日は難有ウ』とお座敷を湯屋の流しと心得た樣な問答が初まる、お客がすこたれの氣味で盃をさした奴を鳥渡口をつけた計りで盃へ置く、之れが催促を受ける迄十分でも二十分でも御返盃と來ない『一ツ彈かないか』とお聲が懸つて漸々三味線を取揚げてから、調子を合せるのに物の十五分もかゝつて『何を唄ひます』と氣の無い事おびたゞしい、こうなると京城のお客は鷹揚なもので『此地はそこに有るから御意はよしで『下サノサを遣れ』と當初からの注文、頃の私の胸のせつなさを……』など、花代を取つて愚痴を列べる樣な事を臆面もなく聽かせると、嬉しがつてお客が妙な手拍子を糸に合せる、七段目なら一力の仲居が何か御用と出る處だが場合によると仲居までが手拍子で浮れる譯だから其心配はない、ちつとお御神酒が廻つて來ると時々お膳の肴へ手が出る『姐さん如何、この酢の物は中々結構だわ』など、とんだ義理湯を汲んで平氣なもんだ、偶に清元とか常盤津乃至は長唄などの所望が出ると『そんな事を知つてる位いなら京城なんかで藝者はしませんよ』と第二の東京を侮辱する事甚だしい、聽て『姐さん何か暖かいものでも喰べましょうよ、チエ貴君いゝでしょう』と來る、昔根津の長屋女郎さ言ふ奴は床の中で夜泣うどんの無心を云つたと聽くが却つてそれに似て非なるものだ、その外お客が廁へ立たうが付いて行くでもない、まして況んや『此手巾じやたいや……』と言つた『油地獄』の小歌ようの情調もないその內の一人が醉ひつぶれゝば仲居まかせ膝でも貸して頭をもんで遣るなんて親切は微塵もなく、他のお客とパラリと出してキユッと出してなど丶色氣の無い手つきで打興じて居ようと言ふ始末、まづこれがザッとした京城藝者のお座敷ぶり（此の項…）

◉革命淸國に起つて共和を謳歌し？

●本會は精良なる商品を提げて輕便なる拂込法に依り第三回會員を募集す
●第三回提供品は眷寵に殉するの良品にして價格亦低廉なり
●募集締切は三月二十日限とし期間中と雖も滿員の節は止を得ず謝絶す
●入會申込取扱店は會名を記したる一定の赤幟を軒頭に樹つ
●募集期間中は提供品見本を各取扱店に陳列し大方の劉覽に供す
●入會希望の士女は規定書を徴せられよ各取扱店は即時之を進呈すべし

明治四十五年二月　日

京城時計興振會

◉本會便法を講じて會員を益す。

申込取扱店（いろは順）

京城本町六丁目　電話一一〇五番　市川時計店
同　本町四丁目　電話二六二番　織居商店
同　本町二丁目　電話四八〇番　織居自轉車部
同　永樂町二丁目　　川合時計店
同　本町四丁目　電話二〇一五番　中村支店 川添權三郎
同　本町二丁目　電話一一三一番　ダイヤモンド堂時計店
同　本町三丁目　電話二五七番　田中時計店
同　本町一丁目　電話一一一七番　中村時計店
同　永樂町　　黑田時計店
同　大平町一丁目　　寺島時計店
同　鐘路通一丁目　電話九八七番　赤帽子時計舗
同　本町一丁目　電話一一三一八番　金化堂時計舗
同　本町四丁目　電話一三九番　木島時計店
同　南大門通三丁目電話一〇一五番　喜多金光堂
同　鐘路通一丁目　　金鐘堂時計店
同　本町一丁目　　三浦天龍堂
同　本町五丁目　電話一〇〇二番　平井勳資堂
同　本町一丁目　　蒲原時計店
龍山元町三丁目　電話三二四番　中山時計店
同　榮町　　天眞堂時計店
同本町郵便局前　電話五六二番



綿、吳服界御通信

◉吳服部御紹介
大島式御召新荷着
本場秩父夜具地類品揃
柄行並に品質の撰定は弊店の特色御誂滿御調進致します

◉綿部御紹介
カード式製綿吹留、袋眞綿全部品揃
滿る月缺ぐるの例に洩れず一時高價の綿類も安價となりました

◉地方部御紹介
御注文品は御來店と同様御安心遊ばす様丁寧迅速に御郵送申上ます

△唐川吳服店
京城明治町二丁目　電話二六一番



醸造元兵庫縣灘
江井ヶ島酒造株式會社
發賣元　京城南大門通二丁目
百合正宗京城支店
電話一五一五番

本場精撰

右銘茶各種新物續々入荷付に御小賣さも大勉强仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目（附圖通）
田中芳春園
電話四五番
振替京城五〇二番

一、土地建物抵當貸附金、月賦償却建築共尤も確實便利且ツ迅速ニ取扱可申候ニ付右陸御申込可被下候
京城黃金町二十番戶
東京建物株式會社派出所
電話一六八一番

元祖
食パン
菓子パンアンパン各種
總督府各官衙御用
陸軍御用
製造御小賣商
京城太平町二丁目
相川兄弟商會
（電話一一八九番）
釜山富平町一丁目
相川兄弟商會支店
（電話二七六番）

政宗　正則　淸正　醸造元

酒　小賣壹升に付三十五錢
御賣は特別割引可仕候
淸酒味淋燒酎醸造元並に日用食料品雜貨類
京城壽町三丁目
中井酒造場販賣部
電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

大聲發音器

日本朝鮮音譜各種品揃
無代進呈音譜目錄
小包にて御送附可仕候
ヨフネツムラヤルガナノアメリカルノ引機（はあ）

日本蓄音器商會
朝鮮總代理店
歐米雜貨洋酒食料品洋煙草類直輸入商
京城本町
辻屋
電話二四八番
振替口座八七番

特製品國旗印
東京澤庵漬元卸
京城南大門通り二丁目
諸漬物卸專業
鳴屋
目下船毎に澤山着荷可仕候産地下落の爲め大安賣可致に付此際御買入御得策と存候
電話九〇三番
振替貯金京城五七番

電話
擔保貸金
月賦賣渡
明治町一丁目
電話一八四四
口入業萬年社

英國セフヒールナ市
シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用地球鷲印八角鋼
道具用　同角磨鋼
職工用　同鑢各種
右は朝鮮一手販賣并在庫潰鮮地石材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
和洋金物商
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
（電話四五番）電信略號「タ」振替貯金口座京城二五六番

各種上等石炭
△日本産石炭名▽
金綫炭　谷
高島炭
唐津炭　江
無煙炭
△平壤産炭名▽
卵形無煙炭
煉瓦形無煙炭
煉炭
粉炭
石炭直輸入商
西崎商店
京城西小門通四十七番
電話七二七番

効能ある温泉
鐵冷温泉
旅館並に浴客席貸
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行北横手）
廣安喜次郎
電話一四一一番

齒科診療
京城南山町二丁目（天眞樓寫眞館跡）
齒科醫　楢崎東陽
電話千三百六十番

▲叮嚀▲迅速▼安價に修理可仕候▼
銃砲自轉車修繕
▲英米自轉車中古格安品澤山取揃有之候間御買求の程願上候
御一見の上
京城旭町一丁目
瀧川銃砲自轉車修繕部

試驗濟
消毒牛乳
牧場直轄
京城永樂町二丁目
京龍牛乳販賣所
電話一七一〇番
一九八八

精神感應（催眠術）
無催眠（諸病治療）
（惡癖矯正）
南山町一丁目
大剛庵
六十四番戶ノ一

世界無比
淳良淸酒
○堺大塚の金露酒は今回改良に付て灘釀造酒のみを用ゆる事にせられたり
○大塚醸造場の金露酒は衛生に經濟に嗜好に社會に於ける一大良品
○京城に於ける金露特約販賣店の元祖は佐藤牧商店なり
○大塚金露酒最近中味改良の結果賣捌高大多數を占めたるは佐藤牧商店なり
○地方御得意様には中味改良の驗として大割引廉價を以て御注文に應じ可申候
特約大販賣
京城本町二丁目
佐藤牧商店
電話二九番
振替京城二九番

京城旭町一丁目
齋藤齒術所
電話一四一四番

牛馬犬猫治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
院長小川眞太郎
小川家畜醫院
（電話四二七番）

株式會社百三十銀行京城支店
電話百九十四番
振替貯金朝鮮一一五十八
資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
爲替取組先
畿內　大阪、神戶、兵庫、京都、西陣、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木
東海道　平野、住吉、御影、東京、橫濱、大磯、靜岡、津、岡崎、濱松、半田、桑名、尾、熱田、四日市、山田、松阪、名
東山道　彥根、大津、八幡、長濱、多治、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋
北陸道　能代、七尾、青森、仙臺、北方、加、金澤、小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖
山陰道　米子、境、松江、今市、太田、倉吉
山陽道　姬路、龍野、網干、岩見、西大、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、吳、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府
南海道　小月、下之關、明石、津山、阿知、和歌山、田邊、御坊、新宮、尾、串本、高松、阪出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、宇和島、高知、德島、撫養
西海道　郡中、門司、福岡、博多、直方、飯塚、伯、大分、別府、臼杵、長洲、長、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎
北海道　小樽、函館、札幌、旭川
臺灣　臺北、臺南
樺太
朝鮮　太泊、仁川、釜山、平壤、鎮南浦、元山、群山、木浦、羅州、晋州、馬山、淸州、大邱、羅南、新義州、城津、開城、安州、大田、金泉、公州、水原、全州、安東縣、大連、營口、奉天、旅順
淸國
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

絃齋流割烹
すゞ津祢
南山町一丁目
電話千五百二番

高島易斷
旭町一丁目御嶽教
大講義　山の內

宅地賣物
東四軒町一千百坪建六十坪
若草町二百二十坪建四十坪
右御入用の方は京城大和町
大和倶樂部へ直接來談あれ

キ
二月中瀛船出帆廣告
薩島行　三月四日前七時
濟州行　二月廿八日前十一時
市串行　二月廿九日前十一時
大瀛州行　三月一日前十一時
海州芝行　三月一日前十一時
仁川本町四丁目
合資會社秋田商會船舶部
電話七五〇番
荷客取扱
秋田商會船舶部荷捌部
仁川本町海岸通
電話四一九番
柴田回漕店
電話五二二番
本田回漕店